

日本熱測定学会第20回通常総会

日 時：1993年10月28日 17：40 - 18：20
 会 場：長岡グランドホテル（第29回熱測定討論会会場）
 総会の成立

総会出席者は委任状（293通）を含めて352名、正会員総数（867名）の4分の1をこえるので、第20回通常総会は会則第17条により成立することとなります。

議 題

1. 1993年度事業報告
 2. 1993年度収支決算承認の件
 3. 1993年度役員の内
 4. 会則の改正
 学会の英語名称の改定について
 5. 1994年度事業計画決議の件
 6. 1994年度収支予算決議の件
 7. その他
1. 1993年度事業報告（1992. 10. 1～1993. 9. 30）
- ① 会員状況 （ ）内は維持会員口数

	92. 10. 1	入会者	退会者	93. 9. 30
正会員	921	47	108	867
学生会員	21	9	1	29
維持会員	34 (65)	4 (4)	5 (5)	33 (64)

② 集会関係

- 1) 委員会1回（東京1回）、幹事会4回（東京4回）、庶務幹事会2回（東京2回）、編集委員会4回（東京4回）
- 2) 第28回熱測定討論会（1992. 10. 28～30、東京早稲田大学国際会議場）
 発表件数 一般発表 79件、ミニシンポジウム 生体分子と熱力学 16件、地球科学と熱測定 7件、特別講演 5件、招待講演 1件
 参加者数 271名
- 3) 第19回通常総会（1992. 10. 29、東京）
 熱測定 Vol. 20, No. 1 (1993) 54参照
- 4) 第29回熱測定討論会運営委員会1回（1993. 7. 3、東京）
- 5) 第25回熱測定講習会「初心者のための熱分析の基

- 礎と応用」（1993. 1. 22～23、東京）参加者123名
- 6) 第26回熱測定講習会「初心者のための熱分析の基礎と応用」（1993. 7. 19～21、京都）参加者 61名
 - 7) 第14回熱測定ワークショップ「熱分析と速度論」（1992. 10. 31、東京）参加者 40名
 - 8) 第15回熱測定ワークショップ「生体分子の構造形成：熱測定からのアプローチ」（1993. 5. 28、大阪）参加者 49名
 - 9) 講演会「高温カロリメトリーの新展開」（1992. 12. 7、東京）参加者 40名

③ 共催・協賛関係

- 共 催：第2回熱分解ガスクロマトグラフィー研究会
 （主催：熱分解ガスクロマトグラフィー研究会、1993. 3. 15～16、名古屋）
- 協 賛：第2回基礎研究の振興と工業教育シンポジウム（主催：日本工学会、1992. 10. 12、東京）
 ：食品ハイドロコロイドに関する国際会議（主催：食品ハイドロコロイド研究会、1992. 11. 16～20、つくば）
 ：新しい粉末回折法（主催：日本結晶学会、1992. 12. 1～2、名古屋）
 ：第6回学協会共通問題に関する討論会（主催：日本工学会、1993. 4. 21、東京）
 ：シンポジウム「材料をめぐる政策と産業動向」（主催：日本学術会議、1993. 4. 27、東京）
 ：第2回化学安全国際会議（主催：日本化学会、1993. 5. 31～6. 4、横浜）
 ：'93新素材展（主催：日本経済新聞社、1993. 5. 18～ 21、幕張）
 ：第3回IUMRS先進材料国際会議（主催：第3回IUMRS先進材料国際会議組織委員会、1993. 8. 31～9. 4、東京）
 ：International Workshop "Functional Properties of Polysaccharides"（食品ハイドロコロイド研究会、1993. 9. 6～7、京都）
 ：蛋白質結晶構造解析入門（主催：日本結晶学会、1993. 9. 21～22、大阪）

④ 出版関係

- 1) 会誌「熱測定」の編集・発行
 Vol. 19, No. 4は1, 250部
 Vol. 20, No. 1～No. 3は1, 200部
 Vol. 19, No. 4 46頁
 Vol. 20, No. 1～No. 3 は174頁 計220頁
 （別に会告30頁）
 Vol. 20, No. 4および No. 5「Vol. 20記念号 研究グループ紹介・総目次・著者一覧」の編集

内 容：巻頭言 1, 論文 8, 総合論文 2,
 ノート 2, トピックス 1, 総説 4,
 実験ノート 1, 解説 4, 熱測定応用研
 究の頁 5
 その他 レポート, 記事, 会報, 計報,
 新刊紹介, 日本学術会議だより, 編集
 委員会だより など

⑤ グループ活動

- 1) 熱測定応用研究グループ (主査：畠山立子) :
 会合2回 (東京, つくば), 会誌「熱測定」の熱測定
 応用研究の頁に協力
- 2) 熱力学データベース作業グループ (主査：山内
 繁), サブグループ (分圧制御ソフト開発作業グ
 ループ, 世話人：脇原将孝) : 会合1回 (東京)

⑥ 国際協力

- 1) 国際学術団体 (IUPAC, ICTAC, CODATA)
 との協力など
 IUPAC : 菅 宏 (阪大理) I. 2 化学熱力学委員
 会国家代表
 ICTAC : 学会として加盟
 小沢丈夫 (ダイセル化学工業) 会長
 十時 稔 (東レリサーチセンター) 評議員
 CODATA : 山内 繁 (国立リハビリセンター)
- 2) IUPAC国際化学熱力学会議 (1996年) の日本誘致,
 準備委員会を設立

2. 1993年度収支決算 (1992. 10. 1~1993. 9. 30)
 単位 (円)

項 目	決 算 額	予 算 額
収 入	10,095,939	10,220,000
(I) 会費収入	5,470,000	5,920,000
1. 正会員会費	3,951,000	4,500,000
2. 学生会員会費	42,000	120,000
3. 維持会員会費	1,477,000	1,300,000
(II) 事業収入	4,521,251	4,100,000
1. 会誌発行収入	1,795,541	2,400,000
広告料	1,176,002	
別刷収入	374,121	
購読料	245,418	
2. 討論会収入	328,409	200,000
3. 講習会収入	2,397,301	1,500,000
(III) 雑収入	104,688	200,000
支 出	9,440,774	10,220,000
(I) 事業費	5,381,951	6,098,000
1. 会誌発行費	4,904,164	5,400,000
印刷代	3,995,000	
別刷代	304,339	
原稿料	244,710	
発送費	360,115	
2. 研究グループ	69,400	80,000
3. ワークショップ・講演会	172,387	300,000
4. 27, 28回討論会準備金	200,000	200,000
5. 国際協力費	20,000	20,000
6. 予備費	16,000	98,000
(II) 管理費	4,058,823	4,122,000
1. 会議費	193,651	100,000
2. 会議交通費	656,500	800,000
3. 事務局費	2,472,000	2,472,000
4. 通信費	365,839	360,000
5. 消耗品費	284,940	280,000
6. 雑費	85,893	110,000
差 引 残 高	655,165	0
前期繰越剰余金	2,170,277	
次期繰越剰余金	2,825,442	

1993年度特別会計熱測定特別基金

¥4,460,508

3. 1994年度役員 (1993. 10. 1~1994. 9. 30)

○印新役員

- 会長 ○小沢 丈夫 (ダイセル化学工業)
- 委員 ○青木 宏之 (岡山理大理)
- 石切山 一彦 (東レリサーチ)
- 石黒 慎一 (東工大総合理工)
- 泉川 智 (山之内製薬)
- 板垣 乙未生 (東北大素材研)
- 稲葉 章 (阪大理)
- 上平 初穂 (生命工研)
- 扇沢 敏明 (物質研)
- 沖野 孝之 (島津製作所)
- 小棹 理子 (フェ-学園湘北短大電子)
- 岸 證 (リガク)
- 木下 良一 (セイコー電子工業)
- 月向 邦彦 (名大農)
- 古賀 信吉 (広島大学校教育)
- 齋藤 一弥 (都立大理)
- 柴崎 芳夫 (埼玉大理)
- 嶋田 志郎 (北大工)
- 高崎 洋一 (真空理工)
- 高橋 一好 (マックサイエンス)
- 田村 勝利 (阪市大理)
- 中村 利寿 (東京理工)
- 西成 勝好 (阪市大生活科学)
- 西本 右子 (神奈川大理)
- 八田 一郎 (名大工)
- 日野出 洋文 (東工大工)
- 平松 信康 (福岡大理)
- 深田 はるみ (阪府大農)
- 前田 洋治 (物質研)
- 増田 芳男 (新潟大教養)
- 丸山 俊夫 (東工大工)
- 村上 幸夫 (阪市大理)
- 山口 勉功 (岩手大工)
- 山崎 淳司 (早大理工)
- 山室 修 (阪大理)
- 会計監査 谷口 雅男 (神奈川工科大工化)
- 幹事 ○稲葉 章 (企画, 阪大理)
- 上平 初穂 (会計, 生命工研)
- 柴崎 芳夫 (庶務, 埼玉大理)
- 深田 はるみ (会計, 阪府大農)
- 前田 洋治 (企画, 物質研)
- 増田 芳男 (企画, 新潟大教養)
- 村上 幸夫 (編集, 阪市大理)
- 山崎 淳司 (庶務, 早大理工)

編集委員 ○村上 幸夫

(阪市大理, 溶液化学) 委員長

- 阿竹 徹
(東工大工材研, 固体熱容量)
- 木村 隆良
(近畿大理工, 溶液および生体関連物質)
- 十時 稔
(東レリサーチ, 高分子熱分析)
- 北村 進一
(京都府大農, 糖類の熱分析)
- 新居 淳二
(三重大教育, データベース)
- 山室 修
(阪大理, 固体熱容量)

地域編集委員

- 北海道 ○嶋田 志郎 (北大工)
- 東北 ○横林 洋子 (東北大教養)
- 関東 ○横川 晴美 (物質研)
- 北陸 ○伊佐 公男 (福井大工)
- 中部 ○月向 邦彦 (名大農)
- 中国・四国 ○川路 均 (広島大工)
- 九州 ○占部 美子 (九大工)

4. 会則の改正

学会の英語名称の改定について

現行 会則第1条

本会は、日本熱測定学会 (The Society of Calorimetry and Thermal Analysis, Japan) と称す。以下本会と略す。

改正 会則第1条

本会は、日本熱測定学会 (The Japan Society of Calorimetry and Thermal Analysis) と称す。以下本会と略す。

5. 1994年度事業計画 (1993. 10. 1~1994. 9. 30)

① 集会関係

- 1) 委員会2回 (長岡1回, 東京1回), 幹事会5回 (長岡1回, 東京4回), 庶務幹事会3回 (東京3回), 編集委員会4回 (大阪4回), 小委員会 (選挙, 東京1回)
- 2) 熱測定応用研究グループ会合2回 (長岡1回, 東京1回), 熱力学データベース作業グループ, 分圧ソフト開発作業グループ
- 3) 第29回熱測定討論会 (1993. 10. 27~29, 長岡グランドホテル)
- 4) 第30回熱測定討論会運営委員会1回 (1994. 6,

予定)

第30回熱測定討論会は大阪で開催予定

- 5) 第20回通常総会 (1993. 10. 28, 長岡)
- 6) 第27回熱測定講習会「初心者のための熱分析の基礎と応用」(1994. 2. 21~23, 東京)
- 7) 第28回熱測定講習会「初心者のための熱分析の基礎と応用」(1994. 7. 上旬, 京都)
- 8) 第16回熱測定ワークショップ「レーザフラッシュ法と熱測定」(1993. 12. 13, つくば)
- 9) 第17回および第18回熱測定ワークショップ
テーマ、オーガナイザー募集
- 10) 講演会

② 共催・協賛・後援関係

共 催：第11回分析のおよび応用熱分解に関するシンポジウム（主催：PYROLYSIS 94 組織委員会, 1994. 5. 30~6. 3, 名古屋）
: International and The Third Sino-Japanese Joint Symposium on Thermal Measurements (共催：中国熱測定学会, 1994. 6. 5~9, 中華人民共和国 西安)

協 賛：第3回基礎研究の振興と工学教育シンポジウム（主催：日本工学会, 1993. 10. 4, 東京）
: 第4回食品マイクロロイドシンポジウム（主催：食品マイクロロイド研究会, 1993. 10. 18, 大阪）
: 第14回日本熱物性シンポジウム（主催：日本熱物性学会, 1993. 11. 10~12, 横浜）
: 食品マイクロロイドに関する国際会議（主催：食品マイクロロイド研究会, 1993. 11. 16~20, つくば）
: 環境のキーワード熱工学（主催：日本学術会議熱工学研究連絡委員会, 1993. 11. 24, 東京）

後 援：第6回中国四国科学機器展, 第2回計測・制御・検査機器展（主催：中国四国科学機器協会, 1994. 5. 20~22, 広島）

③ 出版関係

会誌「熱測定」の発行 (Vol. 20, No. 4は1, 200部, No. 5は1, 250部, Vol. 21, No. 1-3は1, 150部)
Vol. 20, No. 5は特集号「研究者マップ・総目次」

④ グループ活動

- 1) 熱測定応用研究グループ
主査：前園明一（真空理工）に交代, 活動は前年度に準ずる
- 2) 熱力学データベース作業グループおよび分任制御

ソフト開発作業グループ 前年度に準ずる

⑤ 国際協力

- 1) 活動は前年度に準ずる
- 2) IUPAC国際化学熱力学会議（1996年）の開催準備組織委員会設置

6. 1994年度収支予算 (1993. 10. 1~1994. 9. 30)

項 目	予 算(円)
収 入	11,072,000
(I) 会費収入	5,720,000
正会員会費 (870名)	4,350,000
学生会費 (30名)	90,000
維持会員会費 (64口)	1,280,000
(II) 事業収入	4,350,000
会誌発行収入	2,400,000
29回討論会収入	200,000
27, 28回講習会収入	1,750,000
(III) 特集号発行分	800,000
(IV) 雑収入	202,000
支 出	11,072,000
(I) 事業費	6,750,000
会誌発行費(含特集号)	6,100,000
研究グループ	80,000
ワークショップ・講演会	300,000
30回討論会準備金	200,000
国際協力費	20,000
予備費	50,000
(II) 管理費	4,322,000
会 議 費	300,000
交 通 費	800,000
事 務 局 費	2,472,000
通 信 費	450,000
消 耗 品 費	250,000
雑 費	50,000
差 引 残 高	0

7. その他

- 1) IUPAC国際化学熱力学会議（1996年）への学会としての取り組み
- 2) 11月1日より事務局住所が変更になります。
〒113 東京都文京区本郷4-1-4
コスモス本郷ビル8F
電話番号・FAXは変更ありません
TEL 03-3815-8514
FAX 03-3815-8529